



望洋荘便り

第 80 号
平成 22 年
7 月 発行

本を読む

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

若い時には、両親が買い求めてあった書籍や辞典を面白く読み漁った記憶が今も強く残っている。それに加えて兄や姉の教科書や参考書、雑誌や文学書が、それ程の数ではないが当時としては手ごろの読み物として役立っていたようだ。望洋荘に住んでいる年配の方々も当時同じように書物が少なく活字に飢えていたことだろう。

昭和三十三年、医科大学に入学、戦後十年を経たものの、依然として物不足の時代だった。高価な教科書は与えられたが、如何に向学心に燃えていても、テキスト以外は高価でなかなか医学専門書や洋書などには手の届かない時期でもあった。誰かが手に入れたものを仲間同士で回し読みをしたのを懐かしく思い出す。しかし、昭和四十年頃になると、世の中の経済状況も明るくなり、医学専門書、医学雑誌、洋書、その他にも一般の娯楽雑誌、週刊誌、文学書等々が多く発売され手軽に購入出来るようになった。卒業後の医局での研究生活においても、研究に関する医学雑誌や専門書は医療を行う上でも重要なものであったし、勿論、論文の作成でも引用文献等としても貴重なものであった。それらの書籍を多く持つことが一種の自慢でもあったし、大事な宝物もしくは財産でもあり、無くてはならないものであった。

昭和五十四年、大学での研究や学生教育に終止符を打ち、生まれ故郷のいわきに戻り、現在の自宅に越してきた。長年にわたって手元に残っていた書籍全てを住み慣れた福島から運び入れたことは当然のことである。書庫はもちろんのこと各部屋に雑誌、文庫、新書や医学書が所狭しと収まっている。整理整頓しようとするも現状では殆ど不可能な状態である。廊下にも書籍類が山積みされていて通行不便とのこと家族に囁（ヒシ）クをかけた。これを書害と言われても返す言葉はない。生活を脅かす有害図書とまで言われる始末である。しかし、進歩する医学に迫っていくために、新しい知識を得るためにも、物を書くにも本を読むだけばかりでなく必需品として、何かの時のためにと、要らぬ本もあらかじめ買いだめしてしまっている、文字通り積読の一面も否定できない。

私の場合でさえ、いま蔵書はどのくらいあるか定かならずである。私の分野の医学書、特に、医学雑誌は書棚に入りきれず医院の倉庫、自宅の物置に束ねて積み重ねられている。ざっと推定して一万冊は越えているのだろうか？ 生活空間を埋めている本の状況を眺めて、当院の若き内科医からは、「一年以内に一度も目も通さず、手にしない書籍は処分するに値する」と手厳しい批判も受けているところだ。

書籍の在り様というか価値観の変貌は極めて著しいものがあり、現在は、インターネットの進歩で情報入手が手軽になり、必要とする情報も早く得られるようになった。電子書籍も開発され、将来、紙媒体が消滅し、本に触れる感味の味わい深さが消えて行ってしまうのでしょうか。いずれにしても、しばらくの間は望洋荘の職員は、年輩の方々に書物に触れる機会を多く設定し、時には心静かに読み聞かせをしてあげて下さい。心身の活性化は人間として極めて大切なことなのですから。

「花火大会」 共催 望洋荘家族会様

七月十七日(土) 午後七時より正面玄関前で花火大会を行いました。花火大会も今年で五回目となり、望洋荘での夏の風物詩として定着しております。入居者様にはそれぞれ手持ち花火を持って頂き楽しんで頂きました。その他にも「噴出し花火」や「打ち上げ花火」をご覧になり、皆様から花火に火が着く度に、歓声があがっていました。また最初と最後に行った長いナイヤガラは最高でした。家族会様より、沢山の花火を協賛いただきました。本当に有難うございました。



「スイカ割り」 勿来ユニット

七月二十五日(日) 午前一〇時より二階塩屋岬広場にて、勿来ユニットの皆さんでスイカ割りを行いました。入居者様総勢十六名交換でスイカと戦う様子が滑稽でした。スイカは中々手ごわく割れませんでした。みんなの協力した勢いには勝てずパカッと真つ二つとなり、その後はご存知のとおり皆様のお腹へと消えて行きました。大変美味しく頂きました。



「コーラス」 虹色コーラス様

七月三日(水) 午後二時より二階塩屋岬広場にて、虹色コーラス様によるコーラスがありました。多くの入居者様が参加され大いに盛り上がりしました。



「フラダンス」 Bフラット様

七月二十八日(水) 午後二時三〇分より、Bフラットの皆様による演奏とフラダンスがありました。今回で三回目となり、入居者様はじめみんな楽しみにお待ちしております。



「張り板」の思い出

理事長 須田 澁

小生も「古希」を迎えましたが、生まれた時からこれまでの人生の中で、それぞれの時代に、楽しかった事、悲しかった事、大変だった事、頑張った事、笑ってしまいうような事・・・いろいろありました。長かったような、短かったような七十年というところでしょうか。いずれにせよ年をとると時間の経つのが速いと感じるのは私ばかりだけではないでしょう。年とともに時間が経つのが速く感じるのは、フランスの心理学者ピエール・ジャネによれば「十歳の子供にとつては一年が一生の一〇分の一だから長く感じ、六〇歳の人にとつては一年が六〇分の一だから短く感じるのだ」と説明しています。分かりやすい解説であり、むべなるかなとは思ふものの、そうことは単純ではないのではとも感じています。錯覚も大いに関係しているのではないのでしょうか。まあ、自分の来し方を若干振り返ってみましょうか。

少年時代や青春時代は、為すことが多く、先にある時間を使い尽くしたいと思うほどに我武者らに進みながらも、時は待つこともなく、慌ただしく過ぎていったように思います。しかも、若い頃の全てが強烈で新鮮で感銘深く感じたのでしようにか、記憶として沢山の引き出しを形成したよ

うに思います。ですから、若い時の事を振り返ると、あたかも走馬灯のように次々に思い起こすことが出来るのでしょうか。特に子供の頃に見聞きした情景が昨日の事のように目の前に浮かんできます。この頃は、つとに目覚めが早くなったせいか、八〇歳で亡くなった父が、同じように明け方早く囲炉裏の前に黙然と座り、静かに茶を喫していた姿と共に、父の若かりし時に海の磯場に連れて行ってもらった情景が浮かんできます。若布、昆布、カジメ、シユウリガイ、雲丹、ツブ貝、ヒジキ、海藻、磯海苔、天草、フノリ（布海苔）、鮑、等々を一緒に収穫し、美味しく食した思い出です。収穫物の中のフノリ、ヒジキ、若布、海藻等は多くは乾燥させて蓄えて置いたものでした。今回、偶然にもYahoo!知恵袋を開いていたら、「着物を洗い張りする風景、見たことありますか？」という問いかけがあり、その事から母が洗い張りをしていた「張り板」までもが、鮮明に目の前に浮かんできました。

私たちの年代には当たり前の情景で、各家庭の家でも着物の洗い張りが普通になされていたわけですね。古くなった着物をほどこき、洗濯板と固形石鹸で布の汚れを丹念に落とし、水洗いの後、煮立ててペースト状になったフノリを薄く溶かし、その溶液に布を浸していました。それを「張り板」（平らな板で幅約四〇センチ・長さ一六〇センチ以上・厚さ一、五センチ程度）に伸ばしながら貼り付けたものです。夏の暑い日だったか、秋の爽やか日だったか、母がこつこつと作業を続けているのを手伝った事を思い出します。夕方に

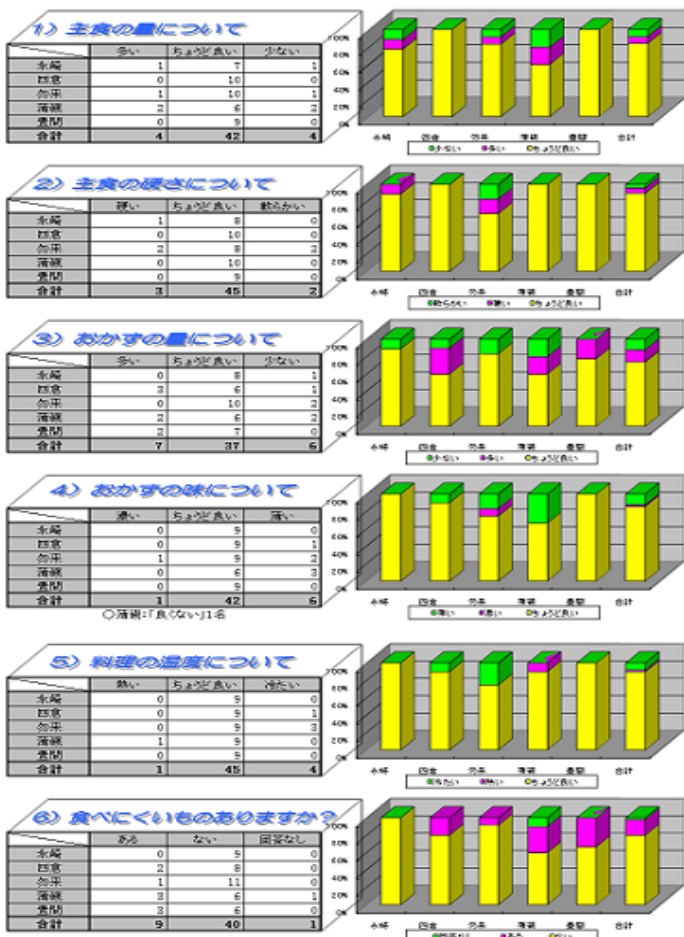
は乾燥した布を「張り板」から剥がす時の、さらさら、パリパリッと乾いた布の手触りと響きが極めて素敵だったことを今でも忘れられません。更に、その布地で仕立て直された浴衣を着たときの肌触りの清々しさが今なお身体にしみ付いているように感じます。フノリを糊として使うだけではなく、味噌汁の具としても最適なものでした。磯の香りがぷうんと鼻をくすぐり、程よい歯ごたえとともに薬味の葱との相性が抜群であり、本当忘れられない母の味の一つです。

こうして、今、古希を迎えた年になり、慢性心不全を患っていた母が五四歳で胃癌の術後すぐに急逝した時の寂しさや子供の頃の両親の面影が記憶の中に浮かんでくるのは、そろそろ古ぼけてきた脳萎縮の兆候なのでしょう。認知症の防止は無論のこと、今、興味を強く感じているのは、記憶という能力は今後、知的な面（知識）と、五感（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚）のいずれもがどの程度、最後まで持ち続けられるものだろうかということであります。年をとると知恵がつくというのは、洋の東西を問わず言われ続けてきました。が、果たして年とともに神経の働きや筋力が低下する中、記憶としての知恵や五感はどこまで耐えられるのでしょうか。この答えは長生きしませんと何とも申し上げられませんので、出来るだけ長生きに挑戦し、医師としてそれらを見極めることをこれからの人生の学習課題にしたいものと思う今日この頃であります。

『それぞれの五〇年』

福島県立医科大学 昭和四〇年卒業生
五〇周年記念誌：平成二十二年掲載から

○調査結果



【嗜好調査】集計及び結果報告書

望洋荘では、入居者様の食事サービスの向上のために毎年入居者様を対象に、嗜好調査を実施しております。実施内容と結果をご報告させていただきます。

【実施要綱】

実施期間：

平成 22 年 6 月 9 日～平成 22 年 6 月 24 日

実施方法：

各ユニットスタッフによる個別聞き取り

調査対象者：

永崎・四倉・勿来・薄磯・豊間

各ユニット入所者様

対象者人数：

永崎ユニット 13 名

四倉ユニット 13 名

勿来ユニット 14 名

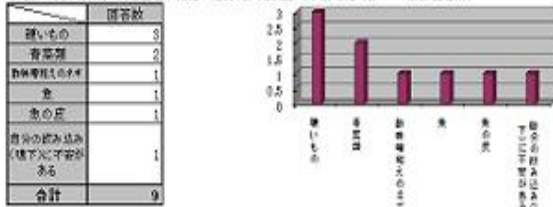
薄磯ユニット 15 名

豊間ユニット 12 名

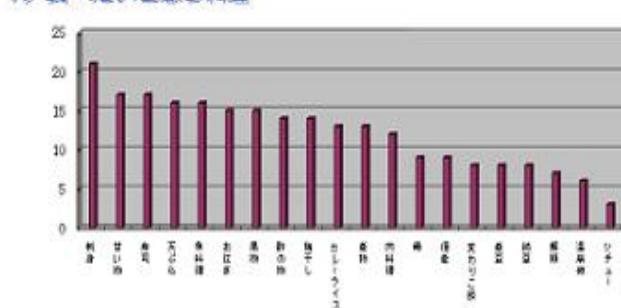
合計 67 名

回答率：50 名/67 名 74.6%

⑥ 食べにくいものがあるを回答いただいた方に、何が食べにくかったのか？※複数回答あり



7) 食べたいと思う料理



(その他・・・グラタン(2名)、漬物・ケーキ・餅・おから・ゼラチン・スパゲッティ・ナポリタン・天丼・五目寿司・バナナ・茄子炒め・きゅうりもみ・絵の巻(各1名)、他 あっさりしたもの 2名見られた)

【総括】

今回は、昨年より、何らかの不満があるとの回答が殆どの項目で減少していたので良かったと思います。ただ、食事はやはり個人差があり、制限されている方もいるので、本人の希望量にしてしまうと、健康管理上不安が出てしまうことが懸念されます。食事量の多い・少ないは、もとの在宅での食生活がベースとなり、主食・副食の量に違いが出ているようです。食べにくいものに関しても、今年は特定の物が少なく、「硬い物がある」との意見が多かったので、十分注意を要すると思います。今後も、今回の結果を基に、食事に対する不満を極力減らしていけるよう、皆様に受け入れられる食事作りに努めていきます。

八月の行事予定

八月一日(日) 午前十時三〇分

「第四回 夏祭り」 永崎ユニット

八月四日(水) 午後一時三〇分

「買い物&食事ツアー」

八月六日(金) 午後一時

「七夕見学」 豊間ユニット

八月二十五日(水) 午後二時

「すいか割り」 勿来ユニット

八月二十七日(金) 午後二時

「すいか割り」 薄磯・豊間ユニット合同

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 四倉ユニット

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場

八月二十八日(土) 午後二時

「すいか割り」 塩屋岬広場